

平成27年度 九州地方治水大会

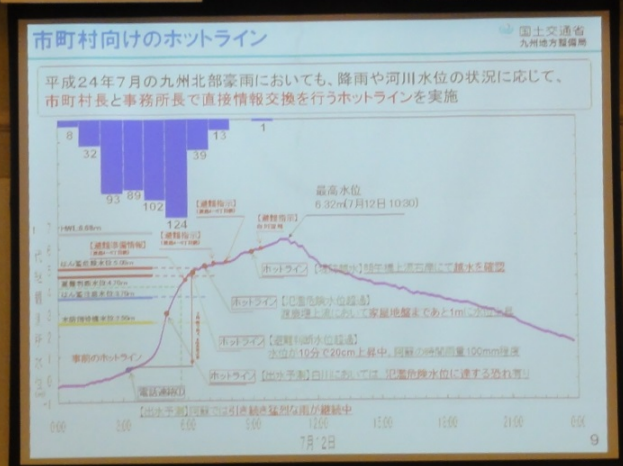


写真 説明状況(説明者:九州地方整備局森川河川部長)

鹿児島県で開催された九州地方治水大会のプログラムの一部で、九州管内の自治体の市町村長や職員を対象に、関東・東北豪雨災害での課題などをもとに、**住民が避難行動を行うための国と市町村の役割や、避難情報を出す基準となる河川の水位や災害時の情報伝達の流れ等**について、九州地方整備局森川河川部長より説明を行いました。

- 実施日 : 平成27年11月5日(木)
- 場所 : ホテルウエルビュー鹿児島(鹿児島市)
- 主な参加者 : 国会議員、県議会議員、市町村長、九州各県・市町村の河川担当者、九州地方整備局、鹿児島地方気象台 (約250名)

※本取り組み(トップセミナー)は、平成27年9月の関東・東北豪雨で、地域住民の避難が遅れ、多数の孤立者が発生した事態を受けて、国土交通省が実施している「避難を促す緊急行動」の一環です。



写真 パネル展示状況(治水大会会場にて)

会場内にて『新たなステージに対応した防災・減災キャンペーン』の取り組み内容や九州内の水害に関するパネル展示を実施しました。

九州では多くの水害や土砂災害が発生しており、豪雨による災害リスクが高いことから、**最悪の事態を想定して、個人・企業・地方公共団体・国等が主体的かつ連携して対応する体制の構築が重要であることを発信しました。**